

子育てサークル「清水こぐまの会」

幼稚園には、保育の時間(教育時間)のほかにも、「子育ての支援」と「預かり保育」という大切な役割があると言われています。(文部科学省『幼稚園教育要領解説』2018)

未就園児の子育てサークル「清水こぐまの会」も、その「子育ての支援」の教育活動と言えます。入園前の子どもたちと、その保護者のみなさんの会です。今年度は14名の子どもたちとその保護者の方々が会員になっています。

3月1日(水)、その会の今年度の終了式が行われました。

最初に主任の先生に教えてもらって、『はなれないふたり』という手遊びをみんなでやりました。次にゴム風船でサッカーをやりました。小さなサッカーゴールめがけて、ゴム風船を思いっきり蹴ります。どの子も大喜びです。次は、『おおきく おおきく おおきくなあれ』という紙芝居を読んでもらいました。そして1年間元気に通ったしるしに、メダルを首にかけてもらって、終了です。わずか1時間くらい短い時間でしたが、楽しく和やかな時間を過ごすことができました。

最後に会長の藤東さんから、「家で子育てをしていると、どうしても人とのかかわりが少なくなってしまいます。こういう『こぐまの会』のような場があると、お友達と一緒にいろいろな経験ができていいと思います。」とご挨拶がありました。

今年度は5月にスタートして11回も集まることができました。こういう活動を通して、子どもたちが幼稚園を好きになり、入園を楽しみに思うようになってくれたら、こんな嬉しいことはありません。そして保護者のみなさんが、子育ての喜びを参加者の皆さんと共有できたら、それもまた素晴らしいことだと思います。

「預かり保育」

放課後の「預かり保育」の教育活動も、幼稚園の大事な役割です。今年度は、長期休業中も含め2月までで206日間実施し、延べ906人の子どもたちが利用しました。たくさん子どもたちが「預かり保育」を利用し、家庭的な雰囲気の中、ゆったりとした時間を過ごしました。



幼稚園教諭の免許と保育士の資格をもつ2人の指導員の先生が、子どもたちの様子を見て、次の日に疲れが残らないよう、子どもたちの負担にならないような活動を、いつも工夫してくださっていました。こういう指導員の先生方の丁寧で温かな指導があつて、子どもたちはまた次の日も元気に幼稚園に来ることができたのだと思います。

清水幼稚園は小さな幼稚園ですが、子どもたちの健やかな成長のために、たくさんの方がかかわってくださっています。